

## 令和元年度 民生委員・児童委員対象「ひきこもり支援に関する調査」結果

### 1. 調査の目的・調査手法

近年、ひきこもりの増加が社会的にも問題になっており、中でも、中高年のひきこもり支援のあり方が大きな課題となっているが、その現状の把握は不十分な状況にある。

今回、ひきこもり状態にあるとみられる方の実態を把握し、今後のひきこもり者への支援のあり方などについて検討していくために、アンケート調査を実施した。なお、本調査は、福岡市民生委員児童委員協議会の協力を得て、市内で活動している民生委員・児童委員の方を対象に、担当している地区において現在把握している情報をアンケート用紙に記入してもらう手法とした。(個別訪問や関係先等への照会を行わない)

### 2. 調査対象

この調査では、概ね15歳以上で、次に該当するような者を「ひきこもり者」とした。

- (1) 社会参加(仕事・学校・家庭以外の人との交流など)ができない状態が6か月以上続いていて、自宅にひきこもっている状態の方
- (2) 社会参加ができない状態であるが、時々買い物や自分の趣味のために外出することもある方

※ただし、重度の障がいや疾病のため外出できない方を除く。

### 3. 調査実施期間・方法

期 間：平成元年8月から9月まで

方 法：市内の担当地区を持つ民生委員・児童委員2,496人に対するアンケート調査

### 4. 回収結果(有効回収率)

1,734人(69.5%)

### 5. 調査項目

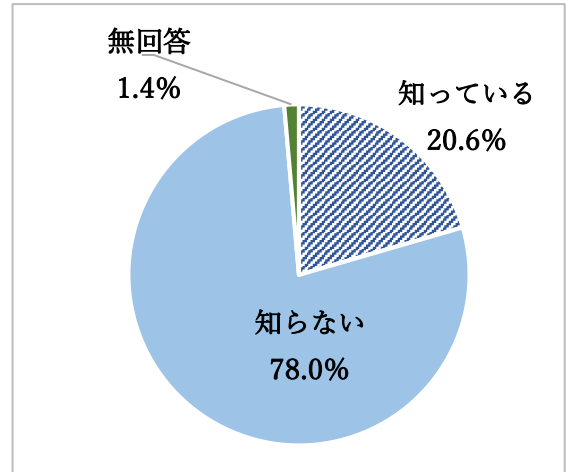
- (1) ひきこもり等の状態該当者について
- (2) ひきこもり等の状態にある方の支援策
- (3) 日頃取り組んでいることや自由意見

## 6. 調査の結果

### (1) ひきこもり等の状態該当者について

#### a. 該当者の有無

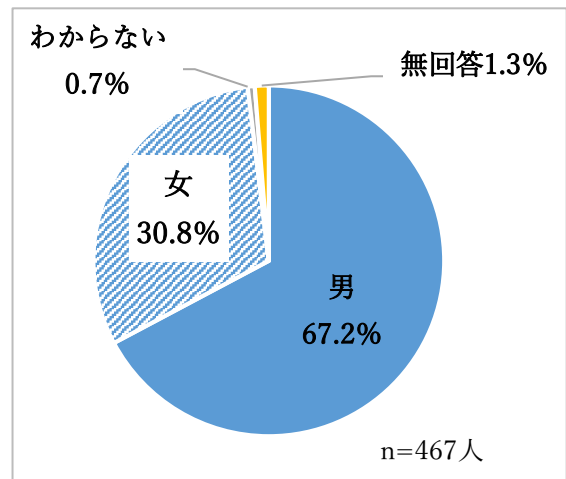
担当している地域内で、ひきこもり等の状態にある方を知っているかについては、「知っている」が20.5%、「知らない」が78.0%であった。



※本調査で把握できた該当者の総数（n）は、467人であった。

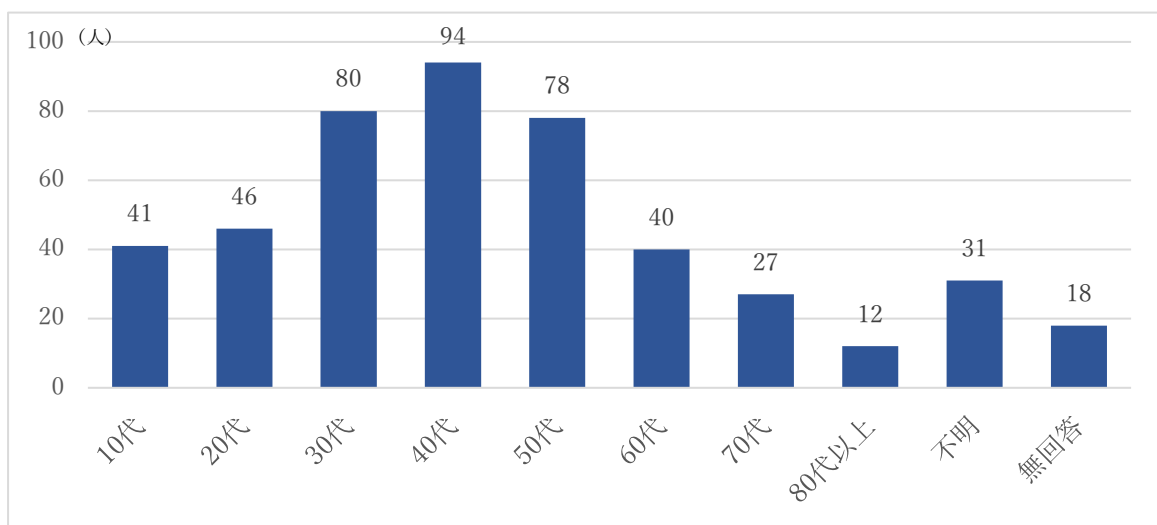
#### b. 該当者の性別

該当者の性別は、「男性」67.2%、「女性」30.8%となっており、男性が女性の2倍程度高い比率となっている。



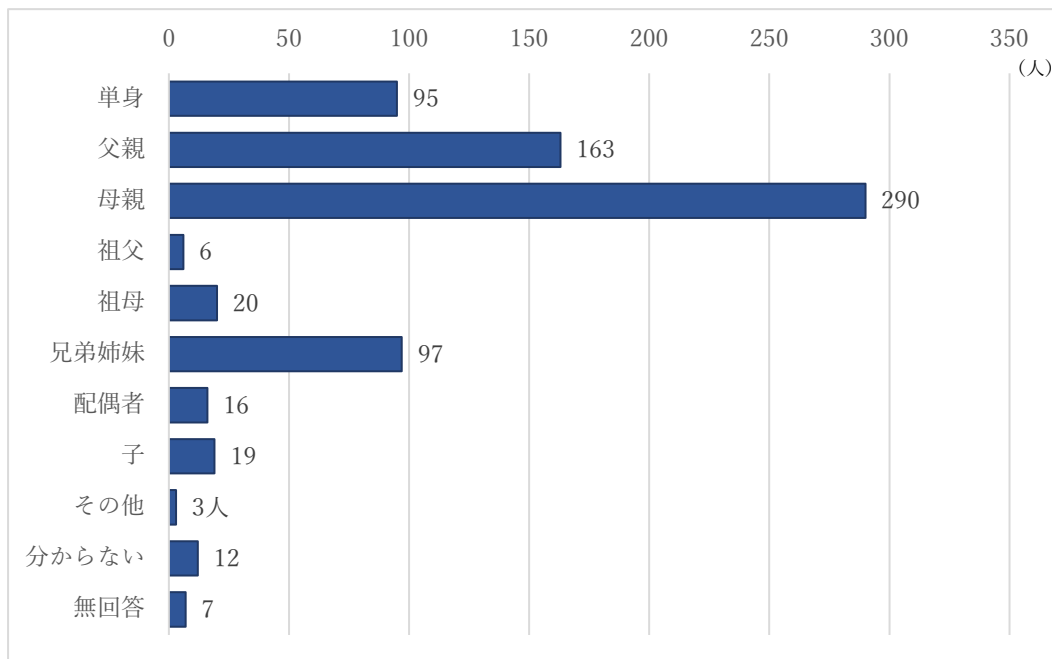
#### c. 年齢

年代別では、40代が最も多い。10~30代までの「若者」が167人、35.9%に対し、40代以上の「中高年層」が251人、53.7%を占めている。



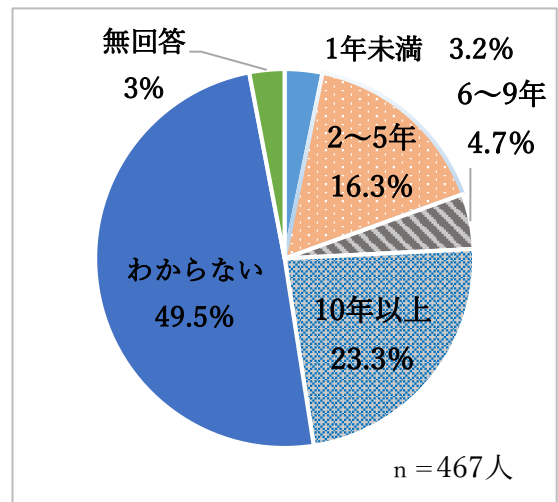
d. 家族構成（複数回答）

同居している家族は、「母親」「父親」「兄弟姉妹」の順で多い状況であった。  
一方、単身は95人で13.0%であった。



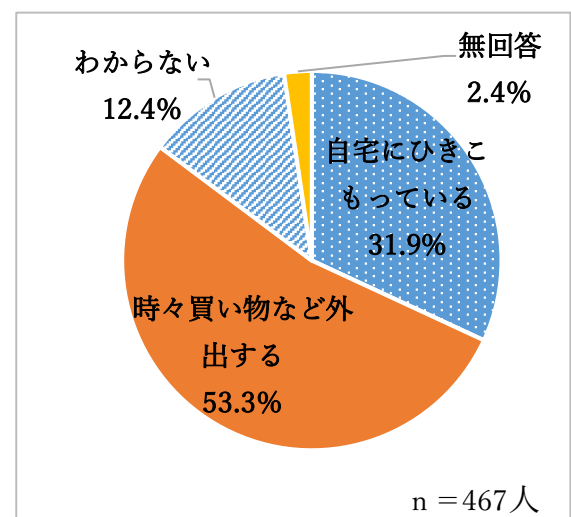
e. ひきこもりの期間

該当者のひきこもりの状態にある期間は、「10年以上」が23.3%であった。



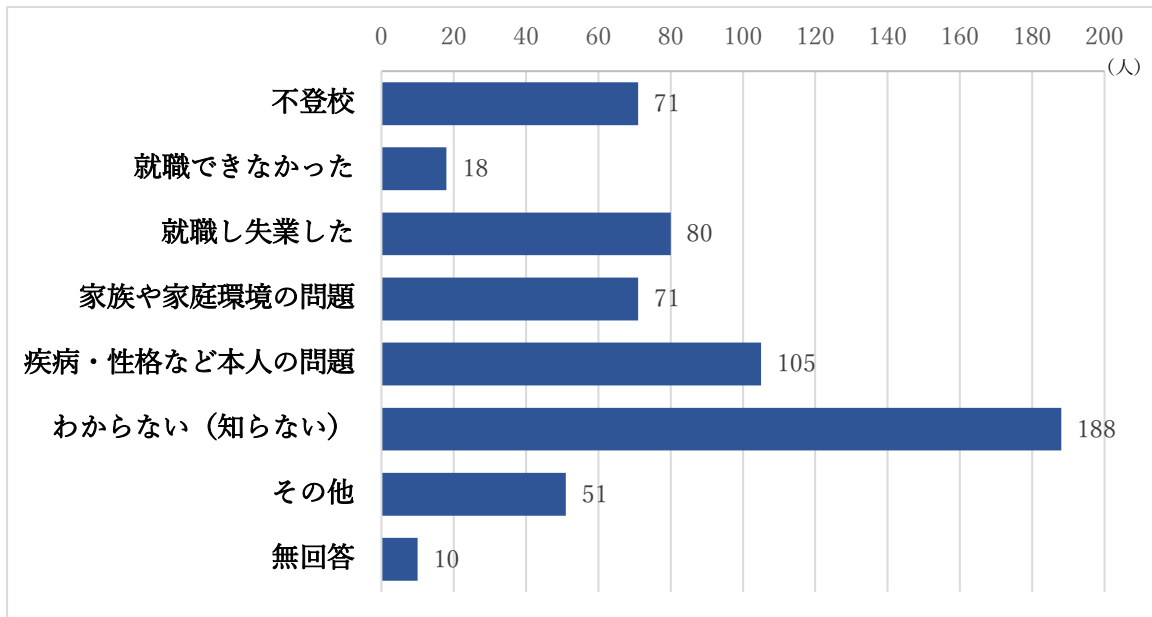
f. ひきこもりの状況

「時々買い物など外出する」が249人（53.3%）,  
「自宅にひきこもっている」が149人（31.9%）  
であった。



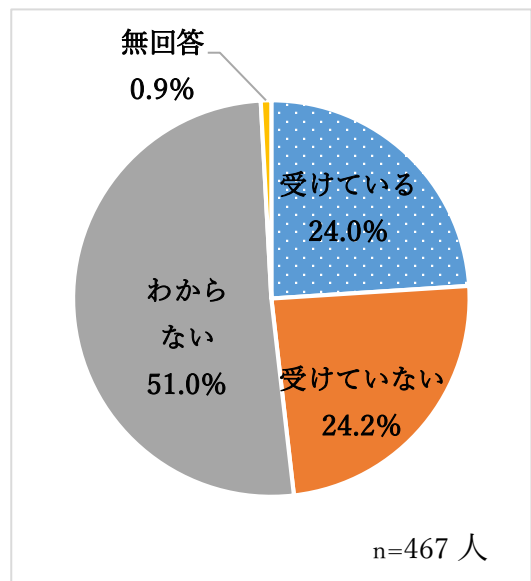
g. ひきこもりになったきっかけ（複数回答）

「わからない」が最も多く、全体の31.6%を占めている。経緯がわかるものの中では、「疾病・性格」「失業」「不登校」「家族や家庭環境の問題」が多い。



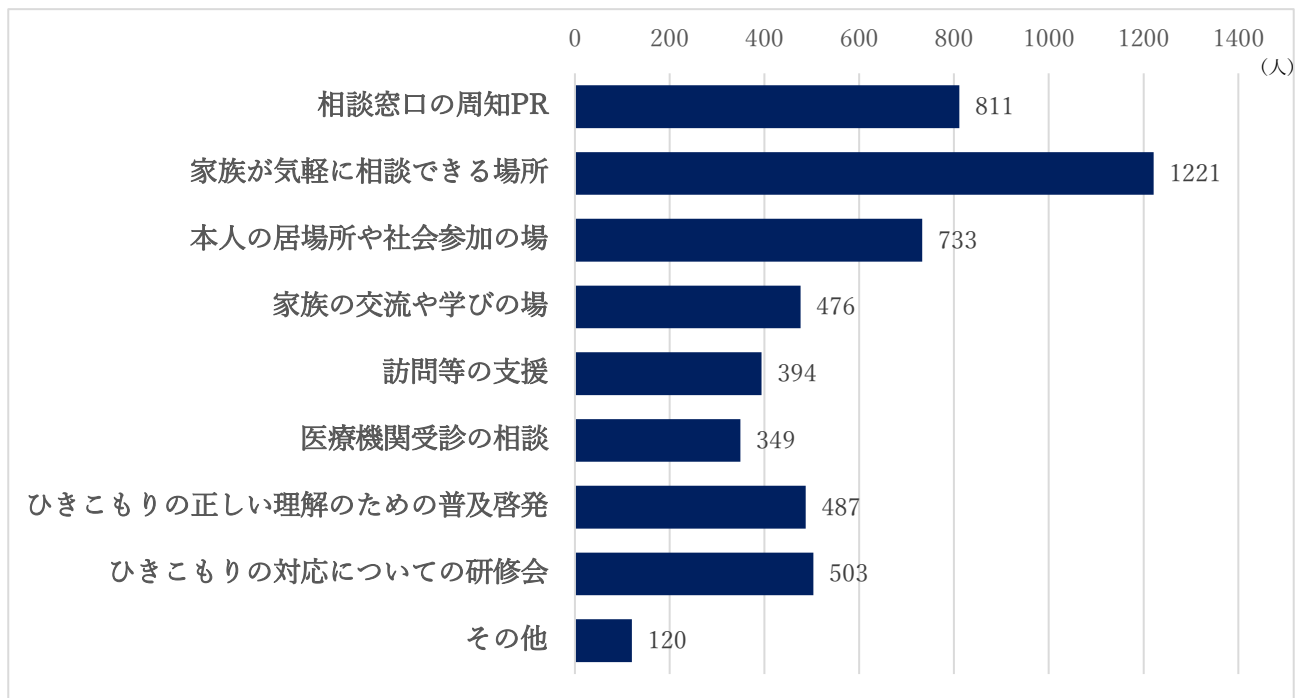
h. 現在の支援状況

「わからない」が238人と最も多く、全体の51%を占めている。「支援を受けていない」を合わせると352人、75.4%を占めている。



(2) ひきこもり等の状態にある方への支援策（複数回答）

「家族が気軽に相談できる場所」が最も多く、続いて、「相談窓口の周知，PR」「本人の居場所や社会参加の場」が多い。



(3) 日頃取り組んでいることや自由意見

- ・近所の協力も得て声掛けしている。
- ・いきいきセンター，社会福祉協議会との連携により，支援，見守りをしている。
- ・大変難しい問題で実態が把握しにくいですが，気軽に相談できる場所や周囲の理解があれば，本人だけでなく，その家族が地域から孤立しなくていいと思う。
- ・親亡き後のサポートが必要。
- ・単身者には介入しにくい。
- ・ひきこもりであること親も本人も否認している。
- ・支援をつなぐ際の個人情報の取扱いに悩む。
- ・本人や家族からヘルプを出しやすい環境づくりがとても大切。
- ・相談のハードルを下げる必要がある。
- ・初期の段階で対処できるよう啓発を。
- ・講演会や研修会をして欲しい。
- ・困っていることを家族だけで抱え込まなくていい，そんな世の中の周知，理解が進んで欲しい。